

2011年10月7日

報道関係各位

株式会社 共立総合研究所
(照会先) 調査部 主任研究員 渡邊 剛
Tel: (0584)-74-2615

中日ドラゴンズ日本一による中部地方への経済波及効果

～総合効果は **219 億円**～

大垣共立銀行グループのシンクタンク、共立総合研究所(岐阜県大垣市郭町 2-25 社長 森 秀嗣)は、中日ドラゴンズが日本一となった場合の中部五県(愛知県、岐阜県、三重県、富山県、石川県)への経済波及効果を試算しましたので、ご案内申し上げます。

試算結果

- 中日ドラゴンズが日本一になった場合、直接効果が **131.5 億円**、総合効果で **219.0 億円**(直接効果の **1.67 倍**)が見込まれます。

項目	具体例	消費増加額 (直接効果)	経済波及効果 (総合効果)	構成比
優勝セール	百貨店やスーパーでの売上増	50.5億円	84.5億円	39%
クライマックスシリーズ関係	入場料、飲食費、交通費、TV放映権、CM料等	38.7億円	63.9億円	29%
日本シリーズ関係	入場料、飲食費、交通費、TV放映権、CM料等	30.2億円	50.4億円	23%
その他	新聞等の売上増、関連グッズ等の売上等	12.0億円	20.3億円	9%
合計		131.5億円	219.0億円	100.0%

(注)各項目及び合計にてそれぞれ経済波及効果を算出している。
百万円単位で四捨五入しているため、合計と合致しない。

【前提条件】

- ・公式戦は1位通過。クライマックスシリーズは、ヤクルトスワローズと対戦。4勝3敗(含むアドバンテージ1勝)で中日ドラゴンズが制して日本シリーズに出場。
- ・パ・リーグの優勝は福岡ソフトバンクホークス。日本シリーズは4勝3敗で中日ドラゴンズが制して日本一に。
- ・日本シリーズは、昨年と同様、全試合ナイト・ゲームを想定。
- ・試算にあたって、中部経済産業局の「平成17年(2005年)中部地域産業連関表」の53部門表を使用した。

発表場所:大垣市政経済記者クラブ、名古屋金融記者クラブ

○優勝に伴う直接効果の試算

項目	項目内訳	金額	備考
優勝セール	百貨店・スーパー	50.5億円	「東海三県」と「東海三県を除く全国」のそれぞれについて、前回ドラゴンズの日本一セールが行われた07年11月の百貨店・スーパー売上高をリーグ優勝した06年11月と比べて、「東海三県」の06年11月比(+4.93%)と「東海三県以外の全国」のそれ(+1.55%)との差(+3.37%)に、セール前の買い控えやセール後の反動の影響を受けていない07年1~8月の「東海三県」と「東海三県以外の全国」の百貨店・スーパー売上高の06年同期比の差(三県-全国=0.2%)を引いた3.2%を「日本一セールに伴う東海三県の百貨店・スーパーの売上増加額」とした。
	計	50.5億円	
クライマックスシリーズ関係	入場料(@4,700円×38,500人×6試合)	10.9億円	昨年のクライマックスシリーズ入場券価格を元に算出
	飲食費	6.6億円	
	交通費	5.1億円	ナゴヤドーム開催のため、地元客が34,500人、関東方面から4,000人と想定。
	宿泊費	2.4億円	
	広告費	6.1億円	各種資料をもとに算出
	TV放映権料(@7,200万円×6試合)	4.3億円	日本シリーズの推計放映権の80%
	CM料	3.3億円	各種資料をもとに算出
	計	38.7億円	
日本シリーズ関係	入場料(@5,100円×38,500人×3試合)	5.9億円	昨年の日本シリーズ入場券価格を元に算出
	飲食費	3.3億円	
	交通費	6.7億円	ナゴヤドーム開催試合では、地元客が34,500人、九州方面(福岡市)から4,000人と想定。福岡 Yahoo! JAPAN ドーム開催試合では、4,000人が名古屋から福岡へ応援に行く想定し算出。
	宿泊費	1.2億円	
	広告費	6.1億円	各種資料をもとに算出
	TV放映権料(@9,000万円×3.5試合)	3.2億円	日本シリーズの推計放映権料をセ・パ両球団で折半。
	CM料	3.9億円	各種資料をもとに算出
	計	30.2億円	
その他	新聞・雑誌売上増加額		
	中日スポーツ(@100円×50万部×20%×60日) 月刊ドラゴンズ(@500円×13万部×20%×2ヶ月)	6.3億円	中日スポーツと月刊ドラゴンズの発行部数が2ヶ月の間、20%増加すると推計。
	ドラゴンズグッズ関連消費額	3.5億円	ユニフォーム、Tシャツ、帽子、メガホン、サインボール、色紙、その他関連商品
	販促用優勝記念品	1.6億円	公表発行部数等から配達部数を推計し算出。
	中日新聞(手拭@50円×273万部×0.98) 中日スポーツ(下敷き@50円×50万部×0.98)		
	祝勝会	0.2億円	
	優勝旅行	0.5億円	
計	12.0億円		
合計		131.5億円	

(注)各項目、百万単位において四捨五入しているため、合計と一致しないことがある。

○まとめ

中日ドラゴンズは、最大10ゲーム離される中、終盤の追い込みで優勝に手が届くところまでできています。

球団史上初のリーグ連覇と1954年以来の“完全制覇”の達成は、デフレ、円高に苦しむ中部経済にとって明るい話題であり、現在の困難な状況を乗り越える原動力となり得ます。

中部地域の消費は震災の影響は少なかったものの、自粛ムードは少なからず存在していました。落合監督は最終年になりますが、地元人気球団である中日ドラゴンズの日本一は、地域の一体感を生み、人々の潜在的な消費マインドに火を付け、数字以上の経済効果をもたらすことになりそうです。

以上